

「こどもちゃれんじ教室」開催！  
～秋の森の落とし物を拾って世界に一つの壁掛けを～

10月27日（土曜日）、三重県伊賀市にある焼尾国有林の遊々の森「生き生き学びの森」にて、「こどもちゃれんじ教室」を伊賀市教育委員会と連携して開催しました。

前日まで天気が危ぶまれましたが、幸いにも晴れてきたため、小学生親子及び三重森林管理署と伊賀市教育委員会の職員、総勢20名が秋のひんやりとした空気の中、森林散策、木工工作を行いました。

散策では当署職員から、種子が遠くへ移動できるように風で飛びやすい形をしていることや、樹皮がシカによって被害をうけていることなどの説明を受けました。子どもたちは、落ちている木の実や葉っぱなどを拾い、森林散策を楽しんでいる様子でした。



種子について説明中



鹿の樹皮剥ぎ被害について

散策から戻ってからは、様々な色、形や大きさの、拾ってきた種子や葉を見せ合った後、木工工作に取りかかりました。自分で拾ってきたものや、職員が用意した種子やペンを使い、世界に一つだけの壁掛けができました！



木工製作中



どんなのができるかな？

「こどもちゃれんじ教室」は伊賀市教育委員会が主催する阿山公民館教室の一つで、三重森林管理署も 10 年前以上からこの時期に講師としてイベントを実施しています。

対象は伊賀市内の小学生のみとなりますが、ご興味のある方は、ぜひ来年ご参加ください。

